

新型コロナウイルス感染症の接触者状況調査に関する名簿の誤送信について

旭区福祉保健課から新型コロナウイルス陽性者が発生した区内施設Aの担当職員あてに、陽性者と接触のあった者を調査するため、調査用名簿の様式をメール送信しました。その際に誤って区内施設Bの76名分の個人情報に記載された名簿を添付してしまい、施設Aの職員6名が名簿を閲覧できる状態になりました。

なお、名簿にはパスワードを設定しており、実際に名簿を閲覧した者は2名でした。区職員が施設Aに出向き、パソコン等を確認して名簿の削除を確認しております。

関係者の皆様に多大なご迷惑をおかけしたことを深くお詫び申し上げます。

1 発生日時

令和2年9月27日（日）午前11時5分

2 流出した個人情報

区内施設Bの新型コロナウイルス感染症の接触者状況調査に関する名簿※（個人情報76名分）

（※ 陽性者と接触した可能性がある人の名簿で、PCR検査の実施を判断するためのものです。）

<内容>

氏名、ふりがな、性別、生年月日、年齢、住所、電話番号など接触者40名分

一部、上記接触者の家族の名36名分

3 経過

9月27日（日）

午前11時5分 施設Aに接触者状況調査のため、調査用名簿の様式が入ったエクセルデータをメールで送信。この際、エクセルの別シートに施設Bの名簿が入っていた。

午後3時36分 施設Aが施設の関係職員5名及び施設Aの本市所管部署に、エクセルで作成した施設Aの名簿をメールで送信。この際、別シートに施設Bの名簿が入った状態だった。

9月28日（月）

午後0時20分 メールを受信した施設Aの本市所管部署の職員が施設Bの名簿が入っていることに気づき、旭区福祉保健課に連絡。あわせて、本市所管部署の職員に送付されたデータも削除した。

午後0時40分 施設Aに連絡し、データの削除を依頼。

9月29日（火）

旭区役所福祉保健課の管理職が、名簿を受信した職員全員のメール及び名簿データの削除を現地で確認。

10月6日（火） 当該名簿に名前が載っている方に、順次、状況説明と謝罪を行いました。

～7日（水）

4 原因

接触者状況調査のための名簿様式を作成する際、施設によって様式を一部変更する必要があるため、本来は標準的なフォーマットを加工して作成すべきところ、施設Bで使用した様式が今回必要な様式に類似していたため、これを加工して作成した結果、別シートに施設Bの個人情報データが残ってしまったもので、確認も不十分でした。

電子メールを送信する際は、添付ファイルの内容を複数人でダブルチェックすべきところ、新型コロナウイルス感染症に関する対応を急ぐ中で、複数人での十分な確認ができませんでした。

5 再発防止策

今回の事案を受け、感染症対応を行っている職員を含む全ての課職員に対し、改めて個人情報の慎重な取扱いについて研修を行い、様式等を加工・作成する際は個人情報などのデータが入っていないものを使用することを周知徹底するとともに、メール送信時には添付ファイルの内容も含めた確認項目を複数人でダブルチェックを行うよう徹底しました。

今回の事案を教訓として、ミスを起こさない組織体制づくりを進め、二度と同じ誤りを起こさないようにしていきます。

お問合せ先
旭区福祉保健課長 小河内 協子 Tel 045-954-6210